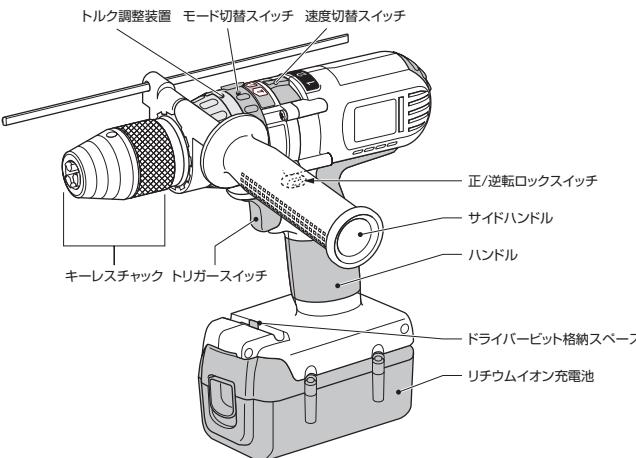
DEWALT®

デウォルト電動工具
取扱説明書

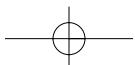
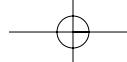
DC900K

36V充電式
振動／ドリルドライバー・セット

製品の各部名称と仕様

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕 様

品　番	DC900K
チャック能力（mm）	1.5mm～13mm
電圧（V）	DC36V
消費電力（W）	800W
トルク（Nm）	52Nm
回転数（min^{-1}）	低速：0～4000min^{-1}　中速：0～1,200min^{-1}　高速：0～1,600min^{-1}
無負荷打撃数（min^{-1}）	低速：0～7,650min^{-1}　中速：0～20,400min^{-1}　高速：0～27,200min^{-1}
能力（mm）	鉄工：13mm　木工：65mm　コンクリート：16mm
質量（電池を含む）	3.1kg

目　次

安全上のご注意

⚠注意　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

● 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

● **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。

● **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。

● **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

● **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入っていると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。

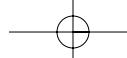
● **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを 必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴 の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

● **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。

● **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。

● **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して事故を引き起こすのを防止します。

● **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち 運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

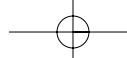
◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告　ドリル・ドライバーに関する安全上の追加事項。

- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
- **手を運転中の刃物に近づけないでください。**運転中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具前部分のハンドルをしっかりとつかんで行なってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- **刃物類はよく切れる状態を保ってください。**切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- **木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA)が含まれるものがあります。**木材の切断作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。

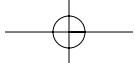
電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

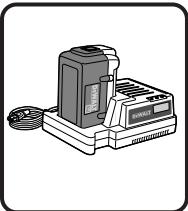
V	・・・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・・・	直流
⧈	・・・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・・・	注意
n_o	・・・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○min^{-1}	・・・・・・・・・・	1分毎の回転数
○○○min^{-1}	・・・・・・・・・・	1分毎の打撃数

⚠ 警告 リチウムイオン充電池と充電器に関する安全上の事項。

◆**下記の注意事項を全てお読みください。**

- **充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。**充電器の電圧は定格板に記載されています。
- **充電器は屋内のみで使用してください。**また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。
- **充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、**使用せず新しいものと交換してください。
  ※交換作業は、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者が行います。
- **充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、**所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- **2個の充電器どうしをけっして一緒に接続しないでください。**
- **導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。**充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- **充電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。**充電器に破損した充電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- **充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。**充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもりたいへん危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- **充電器を分解する試みは絶対にしないでください。**修理／メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- **充電器をそうじする際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。**これは感電を防止するために必要な事項です。充電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- **充電池を開ける試みは絶対にしないでください。**充電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。

⚠ 警告 リチウムイオン充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **周囲温度が4℃以上、及び40℃以下の環境下で充電池の充電を行ってください。また、温度が40度を超える場所に保管しないでください。**これは充電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- **充電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。**充電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- **充電池の端子間を絶対にショートさせないでください。**ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- **充電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。**誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電池を充電してください。
- **専用の充電池でのみ本製品をご利用ください。**他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電池でのみ、本製品をご使用ください。
- **充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。**
- **延長コードにつないで使用しないでください。**
- **「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。**

充電の手順

◆充電のしかた（DE9000）

⚠ご使用の前に、必ず取扱説明書の全ての事項を読んでください。

(1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。3つのランプが点滅して、通電されたことをお知らせします。

(2) 充電池を充電器に差し込みます。 充電器に充電池がしっかりと差し込み口にはまっているか確認してください。充電器には、3つの充電ランプが装備されていて、それにより充電状態を知ることができます。

(3) 3つの充電ランプが赤く点滅すると、充電池の充電完了です。充電ランプの点滅で、充電池の充電の状態を知ることができます。下記の表は、充電池の状況を示したものです。充電終了後、充電器に充電池を放置したままにしても問題はありません。

ランプ	充電状態	
☼ ● ● ▯	0% - 33%	充電ランプ０つ
● ☼ ● ▯	33% - 66%	充電ランプ１つ
● ● ☼ ▯	66% - 99%	充電ランプ２つ
● ● ● ▮	100%	充電完了、充電ランプ３つ

●：点灯　☼：点滅

◆充電器のトラブル探知機能

本充電器は、充電ランプの点滅により充電器や充電池のトラブルを探知できるようになっています。トラブルは異なったパターンで、充電ランプが点灯することで知らせます。

(1) **電源からのトラブル：●●　●●　●●**
充電器が直流から交流に変換するポータブル発電機等を使用した場合、充電器は一時的に使用不可能になる場合がありますので、ご使用は控えることをお勧めします。万が一使用不可能になった際は、3つの充電ランプが2回点滅を繰り返しお知らせします。電源が定格許容値を超えているため、電源が安定するまで様子を見てください。

(2) **充電器のトラブル：● ▬ ● ▬ ● ▬**
充電器に何らかの故障が生じた場合、3つの充電ランプが長い点滅→短い点滅というように点滅を繰り返しお知らせします。故障した充電器は、お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにご相談ください。

(3) **充電池のトラブル：●●●●●●●●●●**
充電池になんらかの故障が生じた場合、3つの充電ランプが同間隔で点滅しお知らせします。

①この場合、充電池を一度充電器からはずしもう一度差し込んでください。

②同じ状態が続いた場合、異なる充電池を充電器に差込み充電器が故障しているか一度確認してください。異なる充電池が充電された場合、最初の充電池になんらかの故障が発生したことを意味します。

③故障した充電池は、お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちになるか、地域で指定されている回収・処置方法に従ってください。

◆充電がうまく行われないときは

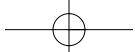
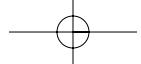
(1) 電源コンセントに電灯などの他の電気機具を接続して、確かに電流が来ているかを調べる。

(2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。

(3) 周囲温度が4℃以上、及び40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。

(4) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げ時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

⚠充電上の注意事項

- 充電中、充電器と充電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。
- どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電池は高温になる場所で保管しないでください。
- 充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならず所定のサービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

◆充電池チューンナップ充電機能

充電池は何度も充電し、使用するうちに本来ある性能を発揮しなくなることがあります。充電池チューンナップ充電機能は、充電池セルの性能をピーク電圧容量で維持させる機能です。チューンナップ充電には約8時間を要します。この機能は週に一度、もしくは約10回の充放電の割合で、ご使用になってください。

※通常の充電をした後そのまま充電地を充電器に乗せておくことで、チューンナップ充電機能に移行します。

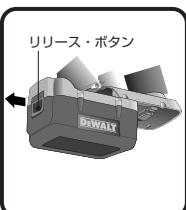
製品の特色と使用方法

⚠デウォルト社製リチウムイオン充電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

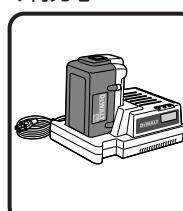
充電池を本機に取り付ける前に、必ずスイッチが切れている状態で正逆転ロックスイッチが中央の位置にセットされていることを確認してください。

◆電池の取り付け方／取りはずし方

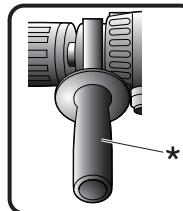
充電池を本機に取り付けるとき、充電池の向きが本体下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を差し込んでください。

⚠充電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。

充電池を工具から取り外すとき、充電池についているリリース・ボタンを押し、充電池を矢印の方向にスライドさせると工具から外れます。

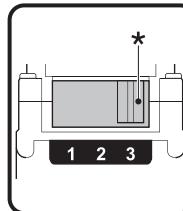
⚠充電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って実施してください。

◆再充電

いつものような仕事をさせたときに工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しだけ使用した充電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

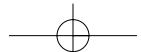
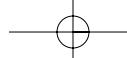
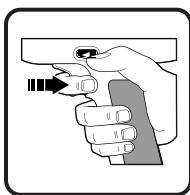
◆サイドハンドル

⚠ 警告

本機を使用する際、必ずサイドハンドル*とともに使用してください。サイドハンドルを使用し、両手でしっかりと本機を固定して使用してください。

本機に備え付けのサイドハンドルは、360度に自由な角度に設定することが可能です。作業に一番合う角度に角度を調節してご使用ください。

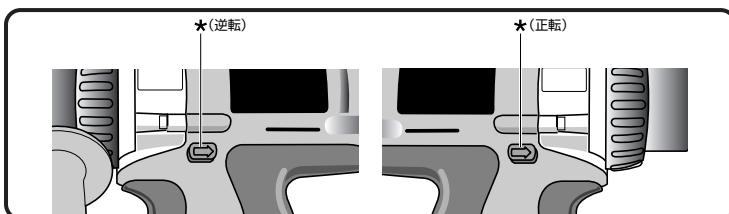
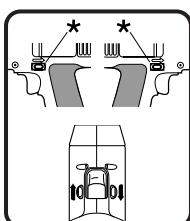
◆速度切替スイッチ

本機は速度切替スイッチ*を3段階に調節することができ、段階毎に速度を調節することができます。図にあるように速度切替スイッチをポジション1（レバーを図から見て一番左側に合わせる）に合わせると低速／高トルクの設定になり、ポジション2（レバーを真ん中に合わせる）に合わせると中速／中トルクになります。速度切替スイッチをポジション3（レバーを一番右側に合わせる）に合わせると高速／低トルクに設定されます。

⚠本機モーターの回転中に速度切替スイッチをスライドさせないでください。故障の原因となります。

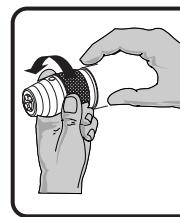
⚠速度切替スイッチは正しい位置にセットしてご使用ください。ポジション1とポジション2、もしくはポジション2とポジション3の中間位置でご使用になりますと故障の原因となります。

◆トリガースイッチ

左図のように、トリガー（引き金）スイッチを引くと作動します。またトリガースイッチを放せば止まります。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、強く引くと高速、弱く引くと低速というように速度を調節できます。作業の内容によってトリガーの引き具合で速度を調節できるので大変便利です。

本機にはトリガースイッチを離すと一秒以内に回転が完全停止する機能がついています。ネジ締めや穴開けの角度を修正したり、ネジ締めや穴開け作業の量をこなす時などに大変便利です。

◆正／逆転ロックスイッチ

下図の方向から見て、正／逆転ロックスイッチ*を右側から一杯に押すと正転します。ロックスイッチを左側から一杯に押すと逆転します。このスイッチを中央位置にセットしておくと、トリガースイッチがロックされて動かなくなります。使用しないときは、ロックをかけた状態にしておいてください。

◆ラチェット機構付きキーレスチャック

ラチェット機構付きキーレスチャックはラチェット機構の働きにより、ビット（先端工具）を確実に固定することが可能です。

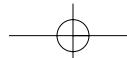
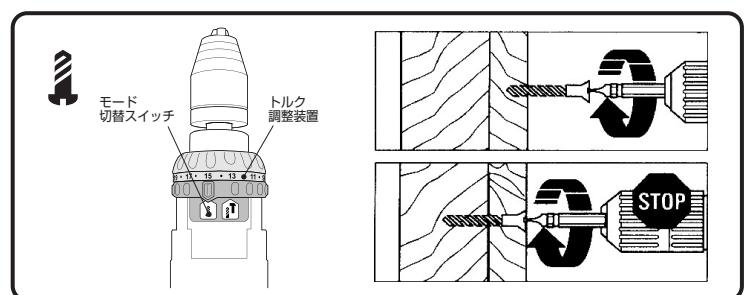
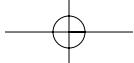
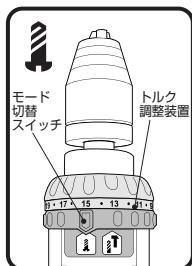
(1) 左図の方向から見て、正／逆転ロックスイッチ*を中央に合わせてください。このスイッチを中央位置にセットしておくと、トリガー（引き金）スイッチがロックされて動かなくなります。

(2) ラチェット機構付きキーレスチャックのチャックカバーの先端を手に持って時計の針と反対方向に回してチャックを全開の状態になるまで開いてください。

(3) 使用するビットを開いたチャックの中に20ミリ程押し込んでください。
時計回りにチャックカバーを回してキーレスチャックを締めてください。このとき、ラチェット機構が作動した状態でチャックが閉まりますので、「カチッ」という音がします。

(4) ビットを締めつけた状態では、自動的にラチェット機構が作動し、ゆるまないように自動で制御します。更に強くチャックを締めたい場合は、チャックカバーの先端を時計の針と同じ方向に回して調節してください。チャックカバーを時計の反対方向に回すと、チャックがラチェット機構なしに開きますので、ビットを取り外してください。

⚠片一方の手・指でトリガースイッチを作動させて、もう一方の手でチャックカバーを開閉させるのは大変危険ですので、絶対にしないでください。

◆トルク調整装置／モード切替スイッチ

- 本機ではこのトルク（締め付けの強さ）調整によって、各々の作業に適した作業が行なえるようになっています。1から22までの目盛は得られるトルクの強さを示し、その設定トルクを上回る力が機械にかかった時は内蔵されているクラッチが滑り、それ以上の無理な回転が行なわれずに空転します。
- 太いネジには高いトルク設定が必要ですが、細いネジにはあまり高いトルクはかえってネジを痛めたりします。何本かのネジ締めをする時に、最初の一本目でネジの頭が板とピッタリ平面になるところで回転が止まるようなトルクを見つけてそのトルクに設定しますと、二本目以後のネジ締めで平面を出すのが簡単になります。
- 加工面を保護するためには、低いトルクで作業を開始してください。

◆ネジ締め作業

(1) モード切替スイッチを“ ”の位置にセットしてください。

(2) トルク調整装置を“ ”以外のいずれかの位置にセットしてください。

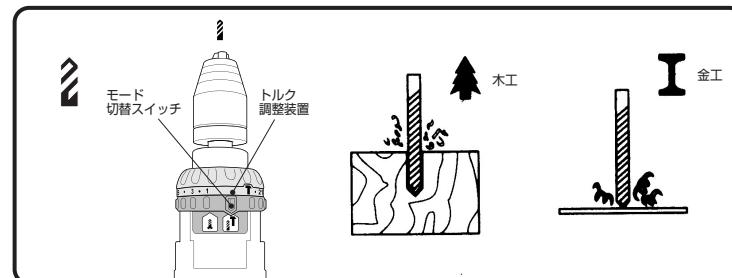
(3) 好みのスピードで作業を行ってください。

◆穴あけ作業、深くネジを埋め込む作業

(1) モード切替スイッチを“ ”の位置にセットしてください。

(2) トルク調整装置を“ ”の位置以外のいずれかの位置にセットしてください。どの位置にセットされても、回転トルク調整装置が作動しません。

(3) 好みのスピードで作業を行ってください。

- 本機をしっかりと両手で固定して穴あけ作業を行なってください。
- 穴あけ作業中、作業物に対して真っ直ぐに力をかけてください。無理な力を作業物に加えないでください。かえって作業効率が悪くなりますし、モーターやドリルビットを早く消耗させることにつながります。
- 穴あけ作業中、負荷がかかりすぎ本機のモーターが回転しなくなることがあります。この場合直ちにトリガースイッチを切り、ドリルビットを作業物から抜いてください。そのまま作業を継続しますと本機の故障の原因となります。
- 穴あけ終了後、ドリルビットを逆転させて抜くときには、本機を両手でしっかりと固定し、トリガースイッチを引いたままモーターが回転した状態で行なってください。
- 本機トリガースイッチには無段変速機能がそなわっています。穴あけ作業を開始する際ドリルビットの先端を作業目標にあてがい、トリガースイッチを少し引き低速の状態で作業を開始してください。穴が深くなるにつれトリガースイッチを深く引き、回転速度をあげてください。
- 鉄工穴あけを行なう際、鉄工用のドリルビットをお買い求めください。鉄工穴あけ作業の際、潤滑油をご使用ください（鋳鉄や真ちゅうに穴あけ作業を行なう際は、潤滑油を使用しないでください）。

◆コンクリートへの穴あけ作業

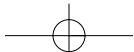
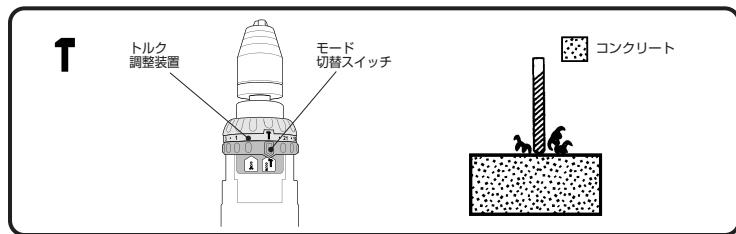
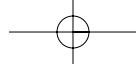
(1) モード切替スイッチを“ ”の位置にセットしてください。

(2) トルク調整装置を“ ”の位置にセットしてください。

この位置では回転トルク調整装置が作動せず、回転時に作業物に対して負荷をかけると振動が発生します。

(3) 好みのスピードで作業を行ってください。

⚠コンクリートへの穴あけ作業には、コンクリート専用のビットをご使用ください。

- コンクリートへの穴あけ作業を行なうとき、無理な力を作業物に加えないでください。かえって作業効率が悪くなりますし、ドリルビットを早く消耗させることにつながります。
- 作業物に対して直角に穴あけ作業を行なってください。ドリルビットに横からの圧力が加わると作業効率が低下しますし、穴の中でドリルビットが詰まり取れなくなることがあります。
- 深い穴あけ作業の途中にハンマーの回転数が低下してきた場合、一度ドリルビットを穴から抜き粉じんを穴の外に取り除いてください。
- 作業中の穴の中に水を注がないでください。穴の中でドリルビットが詰まり取れなくなることがあります。

清掃と注油

本機は工場出荷前に必要箇所に適切に注油されております。ご使用の頻度にもよりますが、2ヶ月から6ヶ月に一回、注油を含むメンテナンスを所定のサービスセンターにてうけることをお勧めします。ご使用頻度の高い工具は、頻繁に注油をする必要があります。また長期間ご使用にならなかった場合も、ご使用の前に一度注油をうけてください。

メンテナンス

ホコリや油等が製品の表面に付着した場合、布やブラシ（金属製以外のもの）等でから拭き／ブラッシングしてください。水、薬品は掃除の際、絶対に使用しないでください。

⚠ **注意** 本機のメンテナンスをする際は、必ず充電池を抜いて行ってください。

アフターサービスについて

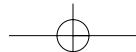
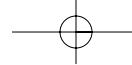
本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

♻充電池と環境

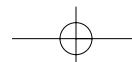
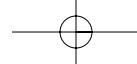
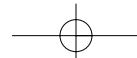
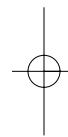
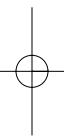
Li-ion
リチウムイオン電池はリサイクルへ

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、
下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

(1) 充電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電池を交換してください（リチウムイオン電池には寿命があります）。

(2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス㈱までご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

MEMO

MEMO

総販売元：マックス株式会社

拠点	〒	住所	TEL
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL（03）3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL（019）621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL（028）636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL（042）528-3051㈹
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL（029）255-3761㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2－22－15	TEL（053）439-3300㈹
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL（078）367-1580㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL（099）269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL（027）210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL（043）422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL（045）364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL（0263）26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1－35－1	TEL（026）285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL（0776）27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL（075）645-5061㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL（087）866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0863	徳島市安宅2－4－46	TEL（088）623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL（089）913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL（011）231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL（022）237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL（027）350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL（048）667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL（052）935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL（06）6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL（082）291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時（ナンバーディスプレイを利用しています。）

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

646349-00　10/06　060703-00/00